

関東支部同窓会

第19号

2015年(平成27年)5月24日

宮城県古川黎明高(旧古川女子高)関東支部同窓会会報

発行者 古川黎明高関東支部同窓会支部長 萩原節子

〒158-0082

東京都世田谷区等々力3-31-9

TEL/FAX:03-3703-5297

しらうめ便り



=今年も見事に開花=

チャレンジ!

関東支部同窓会支部長 萩原節子(S38年卒)

爽やかな風と緑に包まれたこの季節に「白梅」の皆様の笑顔に接し、先生方より母校の様子を伺える楽しみと喜びでいっぱいです。今年度より同窓生作曲による「チャレンジ!」が全国小4年生によって歌われるそうです。この春卒業した生徒さんも新たなチャレンジを胸に学舎を巣立っていった事でしょう。関東でもボクシングの藤岡さんが、信念と勇気を持って海外で勝利しました。まさにチャレンジ精神です。NHKでも「アスリートの魂」として放映されました。お二人とも全国区となられた分です。その外にも多くの同窓生が様々なことにチャレンジし活躍しておられる事と思います。「チャレンジ!」は小学生向けの曲ですが、「黎明」への応援歌のようにも思えます。今年みなさんはどんなチャレンジされますか。

旧古川市内四校 新年の集いに参加して

斎藤あやさん(旧姓:石ヶ森)(平成6年卒)

数年ほど前、古川の実家に同窓会名簿作成のための往復はがきが届き、その時に自分の現住所を関東に変更して返信してから、毎年この会のお知らせをいただいております。これまでは子育てが忙しくなかなか出席できなかったのですが、やっとのことで今年初参加いたしました。人生の大先輩から現役大学生という、参加者層の広さにびっくりしました。古女高時代、吹奏楽部でフルート演奏に熱中していた私は、アトラクションの一流演奏家の方々のコンサートをとても楽しみにしており、胸が熱くなったり、心躍るほどききしたりしながら、聴き入りました。また、この機会に、中高一緒に過ごした同期生の藤岡奈穂子さん(ボクシング世界チャンピオン)をはじめ懐かしい友達と再会したり、初めましての方と繋がったり、新しい発見をしたり。「ずんだもち」もなつかしく、美味しくいただきました。参加させていただき、とても貴重な楽しい時間となりました。ありがとうございました。



来年の4校新年のつどいは

1月23日(土)上野精養軒です。

黎明2nd Stage ～開校100周年に向けて

会窓同協支東関

古川黎明中学校・高等学校 校長 庄子 英利

同窓生の皆様、日頃より関東支部同窓会の皆様には、本校の教育活動に対しまして、ご協力とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年は「旧志田郡立古川高等女学校」の開校から95周年、「古川黎明中学校・高等学校」として10周年を迎えました。生徒たちは、2年前に完成した新校舎での生活にも習熟し、快適な教育環境を維持するため大切に活用しております。

新校舎玄関前に移植した校木「白梅」は、今年も満開に花を咲かせてくれました。古川へお越しの際には、母校にお立ち寄りいただき、新校舎見学と合わせて、生徒たちの活動の様子なども見ていただければ幸いです。

さて、部活動での活躍は近年にたく目覚ましく、陸上・駅伝・なぎなた・弓道・スキー・書道が全国大会や東北大会に出場し、特に陸上競技の中学女子100mでは全国第3位に入賞しました。卒業生の進路達成状況では、4年ぶりの東京大学1名を含めて38名が国公立大学に合格しました。関東圏への進学者も多く、卒業生には関東支部同窓会発行の「しらうめ便り」を配付し、同窓会活動への参加を呼びかけたところです。

本校では4月1日付け人事異動により、遊佐忠幸教頭を始め26名の教職員を新たにお迎えしました。5年後、本校は、100周年を迎えます。教職員一同、これまでの長い歴史と伝統を踏まえ「チーム黎明」として頑張っ参ります。

最後になりますが、同窓生の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

～制服の歴史～

今回は懐かしの制服をご紹介！みなさんが着ていたのはどの制服でしょうか？

古川女学校から古川女子高の歴代の制服が、旧校舎白梅会館に飾られています。

スカートの「ひだ」が特徴的で、「袴姿」の女学生の誇りを受け継いでいるように感じます。



そして平成！現役黎明高校の学生さんにも 快くご協力いただきました！！

11/23(土) 14:00～16:00

11月23日(土) 14:00～16:00

「故郷の自然が夢のはじまり」

東京学芸大学 教育学部 環境教育専攻4年 高橋息吹(いぶき)さん(H23卒)



朝5時半に起きグランドへ、ラクロス部で汗を流した後は授業に卒論研究、放課後は就職活動への準備とアルバイト。

規則正しく忙しい毎日を送っている。

「大学は人生の夏休みと聞いていましたが、この3年そういうことは感じませんでしたね(笑)。」

1年浪人して進んだ東京学芸大学では環境教育学を専攻。

卒論では、河川自然再生工法と幼児教育について取り組むつもりだ。

河の護岸をコンクリートではなく自然に近い形にしている福岡県の上西郷川を見学を訪れ感銘を受けた。「赤ちゃんが川の縁でハイハイしていたり、子供たちが川の中に入って遊んでいたんです。自然と幼児教育の関係についても深められると考えました。」子供好きで環境への思いも強い。その根っこは故郷にある。

「中学の時に初めて行った鳴子温泉郷の紅葉が本当にきれいで。当時はサッカー部で周りの仲間には恥ずかしくて言えなかったけど、ずっと環境を大事にしたいと思っていました。」理科か生物の先生になり、自然環境や生命の神秘を魅力的に伝えたいという夢がある。「これまでお世話になった先生方が、授業も面白く、浪人時代も親身になって下さったりと、みんないい先生ばかりでした。理科や生物は地味と思う生徒にも、暗記科目ではない楽しさを伝えてみたい。」

今は一般企業に就職し社会を経験してから教師という道も構想中。決め手は6月22日からの母校での教育実習になりそうだ。「在学中に教わった先生もいらっしゃるので緊張しますが、頑張ります。」何事にも手を抜かず“一生懸命”。

この言葉も小学校の先生から教えてもらったものだ。宮城を種に東京でまっすぐに伸び、初夏の母校の教壇へ。

教育実習もきつとやりきって、自らの未来に息吹を吹き込む。

快拳!!アウェイで判定勝利!!

今年3月、我らが古女生のヒーロー、藤岡奈穂子選手が女子ボクシングの本場メキシコで、WBC女子インターナショナル・スーパーフライ級王座を獲得! 地元のスーパースター、マリアナ・ファレスに判定勝ちし、世界に強さを見せつけた。

メキシコでの試合の様子はNHKの「アスリートの魂」で特集され、大きな反響を呼んだ。

藤岡選手の元には取材依頼も殺到し、

5月にはNHK「ちきゅうラジオ」で世界で活躍する日本人のスペシャルゲストとして生出演。

女子ボクシングの普及にも大きく貢献している。

藤岡選手は「メキシコのボクシング熱はすごかった。

日本でももっと女子ボクシング人気が高まるよう

面白い試合をし、後輩も育てたい。今後は、3階級、

4階級、5階級と行けるところまで挑戦していきたい」と話している。

8月で40歳になる藤岡選手、さらなる挑戦に注目だ!!



NHK「ちきゅうラジオ」で同窓生のコラボ!

編集会議のあった5月2日、青山学院大学のNHK@キャンパスで、NHK ラジオの生放送があるとの情報で早速3人で駆けつけました。若い大学生に混じって異色の中老年!でもラジオなので気にせず、紅さんの名司会と藤岡さんの物怖じしない話に聞き入りました。「私たち二人とも古川女子高出身なんです」の紅さんの紹介に前列に陣取った3人がうんうんと頷く。さぞかし紅さんやりにくかったことでしょう!

後半の現役大学生の討論も、若い人の生き方が見えて来て楽しいひと時が過ごせました。(加藤 記)



～心あったまる宮城弁「○○すい」講座～

★初級編(原型がわかる)

「やさすいねえ」(優しいですね)
「ほすいなや」(欲しいですね)
「くわすいごっ」(詳しいですね)

★★中級編(ちょっと変形)

「おますいっ!」(おもしろいっ!)

★★★上級編(原型がほとんどありません)

みなさんも思い出してみてください!!

①「おしよすい」

例文『あらやんだ、あんだあ〜。「おしよすい」でば〜。』

ヒント:照れています

②「こっばすい」

例文『とみぎ、おがりすぎで「こっばすい」なや。』

ヒント:夏の畑でとれる物を食べています

★★★★上級編の解答

①「はずかしい」

例文『あらいやねえ、あなたってば、はずかしいじゃない〜。』

②「ちょっとかたい」

例文『とうもろこし、成長しすぎてちょっとかたいね。』

★Facebook ページを開設しました★

「古川女子高・黎明高 ～同窓会関東支部～」で検索なさってください。

“つながっぺ!!古女&黎明” 関東支部同窓会、会報、同窓生の応援、近況報告などのページです。

古川女学校・古川女子高・黎明高の出身で関東在住の方、よろしければ繋がらしましょう!



三本木の菜の花

編集後記

■春から担当番組がNHKラジオ土日の夕方の「ちきゅうラジオ」になりました。藤岡先輩と夢の共演も果たしました!今回の取材では「れいめい世代」の高橋さんにお世話になり、真面目で前向きな姿勢にとっても刺激を受けました。ありがとうございました!(H11年卒、柴原紅)

■2年前に本部古川の同窓会幹事をさせていただいたり、現在進行形でボクシング藤岡チャンピオンの熱烈な応援をしたりしていることがきっかけで、編集委員の皆さまと仲よくさせていただくことになりました。新年の旧古川4校同窓会、大崎ネットクラブ、今回の関東支部同窓会もすべて、今年が初参加です。編集会議も含めてなんと楽しいひとときでしよう!また歴代制服の撮影で、本部古川の同窓会室にうかがったときに出会った現役黎明高校の生徒たちの、なんと素直で礼儀正しいこと!!自分が古女卒業生であることを改めて誇りに思うのでした。(H6年卒、吉田祥子)

■この白梅は、故郷の頼もしい先輩、後輩の皆さんとの縁をつないでくれました。ありがとう。(60年卒、大上とも子)

■今号は取材から編集まで、全て若い人におまかせで楽しませていただきました!「若いって素晴らしい!」世代交代できるって心地良いです。(*^_^*)(41年卒、加藤恵子)

■気持ちよくトントタッチができて最高です!先号からレイアウトの新鮮さを感じ取っていただけたことでしょう。編集会議は楽しい!それがウリかも。(38年卒、尾木成子)